



GMS

「アート町家」プロジェクト
vol.0

雁木のまちに暮らす若者たちのまなざし

×
明治町家の光と陰

Introduction ▼

雪のまち独特の建築「雁木町家」は、ここ上越・高田が発祥。当地のアイデンティティとも言える特徴的な景観は江戸から令和にまで受け継がれ、残存総延長日本一と言われていています。

しかし、ここ数十年続く少子高齢化と人口流出により上越随一の中心市街地だった高田にも空き家が増え、取り壊しが進み、年々、雁木通りの寸断が目立ってきています。

一方で、地域社会や人と人とのつながりへのリスペクトを持ち、生活の場・仕事の場として雁木のまち高田を選ぶ若い人々も今、少しずつ、少しずつ現れ始めています。

そんな彼らのまなざしと、明治町家の光と陰とが織りなす〈体感する写真展〉。秋の戸野目へ、どうぞお越しください。

Photo ▼

上野 迪音 (高田仲町 在住)

打田 亮介 (Nito Design & Rebuild 建築士)

西澤 真咲 (スイミー 古本と日本酒の店 店主)

町 桃子 (民泊 町の家 在住)

吉田 恵理 (ヨシダ編物店 店主) ※五十音順

Curator ▼

池田 なつき (Seikitzza/ソーシャルデザイナー)

会期 ▼

2021.9.18(土) - 23(木) ※21(水)は休館

会場 ▼

こうじや byぱとべ (新潟県上越市戸野目)

料金 ▼

500円(当日、受付にてお支払いください)

予約 ▼

感染症対策のため、事前予約・入場時間指定制とさせていただきます。下記QRよりご予約ください。

*1回あたり入場人数の枠に空きがある場合は、当日、ご予約なしでもご入場いただけます。



主催 ▼

一般社団法人 雁木のまち再生

[Facebook/Instagram] @gangi.ms

*当企画は(一社)北陸地域づくり協会の助成事業です。